

# LIBERA

[リベラ]

VOLUME

89

2023

[特集]

SPECIAL FEATURE

## 高度専門職をめざして



kirari  
活躍する  
経法生

### 日本のグローバル企業で奮闘中！

#### 日本での仕事を通して 母国の経済発展にも貢献

今回ご紹介するのは卒業生のご夫妻ドディ・エルファンサさんとディア・ロザさんです。インドネシア出身のお二人は、母国を離れて日本へと渡った時も、国際学部の一期生として本学に入学した時もずっと一緒に、卒業後も同じユニチカ株式会社に就職されました。そして昨年12月にめでたくご結婚。公私ともに充実した毎日を過ごすお二人に、いろいろな話をうかがいました。



総合素材メーカーとして多彩な製品を生産しているユニチカで、ドディさんとディアさんはフィルム事業部に所属し、生産管理の仕事に携わっています。「多角的な事業をグローバルに展開している会社なので、国際学部で養った国際ビジネスの知識や異文化間コミュニケーション能力が生かせると考えて入社を志望しました。実際の仕事では化学の知識も必要になるので、最初は覚えることが多く大変でしたが、3年目の今は担当製品や仕事の流れについての理解も深まり、自信を持って働くことができている」とドディ。

本学で学んでいた頃の思い出についても、お二人にうかがってみました。「国際法律や文化などの専門分野の学びに日本語で取り組むのに、最初はとても苦労しました。でも先生がみんな親切で丁寧に指導してくれ、ベトナムや中国などいろいろな国から集まった同級生たちの頑張る姿にも刺激を受けました。先生や同級生たちとは卒業後もずっと連絡を取り合っていますよ」とドディ。

#### 国際学部での学びや経験が いまに繋がっている

### ユニチカ株式会社 勤務

ドディ・エルファンサさん 国際学部 2020年3月卒業  
ディア・ロザさん 国際学部 2020年3月卒業

#### 将来的にグローバルな活躍を期待

##### ユニチカ株式会社 人事総務部(採用担当)

ユニチカ大阪本社では、インドネシア関連会社のナショナルスタッフを短期で受け入れることはありましたが、正社員としてインドネシア留学生を採用するのは初めてでした。現在、ドディさん、ディアさんはともに、弊社のコア事業であるフィルム事業部のフィルム製品の知識を蓄積しながら、フィルムの生産管理業務を遂行しています。我々の生活に欠かせない食品の包装に使用されます。

#### 異文化との交流が成長につながった

日本人学生と留学生がともに学び合う国際学部の環境は、ディアさんやドディさんにとって大きなチャレンジャーだと思いましたが、ふたりはその明るく積極的な人柄から、いつも友達に囲まれていました。また1年次の短期海外体験で、ディアさんは韓国、ドディさんはマレーシアのプログラムに参加。ディアさんはこれをきっかけに、韓国の崇実大学校との交換留学プログラムにも参加しました。世界各国から集まる留学生たちとの交流でかなり英語が鍛えられたそうです。また、ディアさんは、ミャンマーでのロビン



▼教員からのメッセージ 「国際学部 菅原 絵美教授」

ギャ難民を、ドディさんはインドネシアにおけるICTの浸透をテーマに、卒業論文を完成させています。日本での学び、そして韓国やマレーシアでの経験を通して、異なる文化を持つ人々と協働する力が身についたと思います。そんなふたりが、ユニチカで新たな出会いを得、新たなチャレンジャーに向き合い、今後ますます成長していくことを期待しています。

CONTENTS

02 【特集】  
高度専門職をめざして

▶ スペシャル対談  
**法曹**  
河野克哉さん × 大島一悟教授  
卒業生 ○ 藤木 大雅さん

▶ スペシャル対談  
**公認会計士**  
橋本 陸人さん ×  
引地 夏奈子教授 ×  
藤原 大花助教  
卒業生 ○ 辻山 大夢さん

09 クローズアップ経法  
CLOSE UP KEIHO

- ▶ 第51回経法祭
- ▶ 学生消防隊SAFETY
- ▶ 新スポーツ施設
- ▶ クラブ・サークル
- ▶ 2022年度秋学期クラブ活動結果

12 kirari 活躍する経法生

ユニチカ株式会社勤務  
ディア・ロザさん  
ドディ・エルファンサさん

2023年3月17日発行

【編集】大阪経済法科大学事務局庶務課  
〒581-8511 大阪府八尾市染音寺6丁目10番地  
TEL 072-941-8211 FAX 072-941-4426

<http://www.keiho-u.ac.jp>

# 高度専門職をめざして

【特集】  
SPECIAL FEATURE

●司法試験(裁判官・検察官・弁護士) ●公認会計士

### 難関試験突破に向け、全力を尽くす毎日。 その扉の向こうに、叶えたい夢があるから。

本学には、司法試験や公認会計士試験といった難関国家試験への合格をめざして、日々ひたむきに学んでいる数多くの学生がいます。今回はそんな高い目標に向かって頑張っている学生にスポットを当てた特集です。法曹を志す学生、公認会計士を志す学生、それぞれ支えとなる先生とともに日々重ねている努力や将来への想いについて語っていただきました。



本学卒業生の司法試験合格者は、合計で18名となりました。また公認会計士は過去10年(2013年~2022年)で11名合格しています。

**3年間で11名の卒業生が合格した実績を励みに**

**大島**◎法科大学院の入試時期が近づいてきました。河野さんの目標は裁判官でした。

**河野**◎はい。入学前は弁護士を想定していたのですが、学んでいくなかで自信がついてきて、より挑戦しがいのある目標を掲げるようになりました。学費が半額免除になる「法科大学院進学奨励奨学金」を受給していることも自信につながっています。

**大島**◎先日、4年次も継続できるような奨励奨学金の試験を受けていましたね。これも活力になつていないでしょうか。河野◎大学から選んでいただけたことが喜ばしいですし、学修のモチベーションにもなっています。

**大島**◎裁判官になるには、裁判所に採用してもらえない人間にならないといけない。かなりの難関です。そのためには真面目にコンコンと努力を続けることが欠かせません。高い目標を持つことも途中でやめてしまう人は少なくありませんが、河野さん



の良さはそこを頑張れるところ。第一関門はクリアしていると思います。河野◎ありがとうございます。僕は秀才タイプではありませんがコンコンとやり抜くことはできます。大島◎卒業生たちも頑張っています。本学からの法科大学院進学者で、司法試験の合格者数はここ3年間で11名います。河野◎そんな先輩たちの頑張りは励みになります。僕も司法試験に合格し、いつかたくさんの先輩とともに法曹界で活躍したいですね。

【特集】 高度専門職をめざして

**大切なことは日々の努力を継続すること**  
大島◎ここで認識してほしいのは、大学時代に成績が優秀だった人が必ずしも合格しているとは限らないことです。逆に成績は今ひとつでも、粘りに粘って最後に合格したという話も聞かれています。頭脳明晰だから合格するというよりも、普通の人が努力を継続することで受かるという側面もあるのが司法試験です。

河野◎肝に銘じます。僕がめざしているのは法科大学院在学中に司法試験に合格することなので、今の頑張りが勝負だと思っています。大島◎そういえば予備試験での早期合格がプランでしたね。予備試験の合格率は約4%と非常に難易度が高い試験です。早期に予備試験に合格すれば、それだけ優秀だという証明になります。河野◎はい。僕もそう考えてめざしています。勉強は好きだし、やり遂げられると思っています。



**河野 克哉さん**  
法学部 3年 大阪府 初芝立命館高校出身  
高校時代から目標は法曹界。経法大を選んだのは、Sコースと奨学金制度に魅力を感じたから。小中学校で野球をしており、定期的にかつての野球仲間と集まるのも楽しみ。好きな球団は阪神タイガースで、野球観戦は勉強中心の日々を過ごすなかでの大切な息抜き。

**大島 一悟教授**  
法学部長 [博士(法学)]  
大学卒業後、8年間金融機関に勤務。その際、融資が必ずしも公平に実施されていないという実態に触れる。そこで担保制度や資金調達方法などに関する法律に関心を持ち、広島大学大学院社会科学研究所に入学。同大学院修了後、2011年から経法大の教員となる。

[スペシャル対談]

# 法曹

裁判官  
検察官  
弁護士

Crosstalk

## 一般演習と法曹特別演習 という2つのゼミで学ぶ

**河野**◎大島先生のゼミ生として思うのは、発言の機会が多く、グループワークも盛ん。学生にとっては忙しいゼミです。

**大島**◎グループで一つの報告文を作成するしくみになっていますので、嫌でもやらなければならない。

**河野**◎視点の違う学生同士で作業をすることが多いと感じています。民法の知識とともに、協働の進め方についても学んでいます。

**大島**◎それはグループ編成で意識しています。ゼミには法科大学院、公務員、民間企業など、さまざまな進路をめざす学生がいますので、異なる進路希望の学生を同じグループにするなど、なるべく友達じゃない学生同士で組んでもらっています。

## 河野克哉さんの必携アイテム



### 目標とする予備試験の合格に向けたテキスト

勉強の相棒。2年から使っている民法のテキストです。毎日欠かさず読み込んで、理解を深めています。入試対策というよりは、予備試験の対策として活用しています。この年季の入りようが勉強量の証です。

## 先輩から在學生へのメッセージ

まずは一度、何か一つの勉強をやり切る。それがすべての始まりになる。



藤木 大雅さん

ベリーベスト法律事務所 勤務  
法学部 2018年3月卒業  
[立命館大学法科大学院 2020年3月修了]  
大阪府立柏原東高校出身

法科大学院修了後、2021年、司法試験に1回目の受験で合格。最高裁判所司法研修所(大阪地方裁判所配属)修了後、2022年4月、ベリーベスト法律事務所(現在は和歌山オフィス)に入所する。弁護士としての今後の抱負は、難しい案件でも恐れずに挑戦していくこと。

員同じというわけにはいきません。そのなかで、どう議論や発表の質を高めていくのかを考えています。

**大島**◎それが社会に出るための訓練になるはず。社会ではいろんなタイプの人と一緒に仕事をするわけですから。

**河野**◎もちろん、民法についても深く学んでいます。「民法判例百選」からのお題を自分たちで選んで、その判例における紛争の過程や判決の中身についてグループで議論すると同時に、分からない部分を調べる。そして、報告文の作成とプレゼンを行う。この一連のプロセスを通じて、知識がしっかりと定着します。

**大島**◎民法の判例は司法試験や公務員試験に出題されますから、その対策にもなるように考えています。

**河野**◎大島先生には通常のゼミに加え、「法曹特別演習」でも指導していただきました。法科大学院や司法試験の過去問をたくさん解いて先生の添削を受ける、非常に実践的なゼミでした。インプットとアウトプットを繰り返すことで、論文作成のコツを徐々につかんでいきました。

### 法律家は人間的にも成長しなければならぬ

**河野**◎大島先生はゼミ生の進路をいつも気にかけておられます。僕も先生と話したことで、受験する法科大学院を決められました。

**大島**◎進路の決定をできる限り支援したいと思っています。河野さん

## 【特集】高度専門職をめざして | 法曹◎スペシャル対談



のように入学時に目標が定まっている学生には、それに向かっているように応援する。定まっていなくても、生には決められるように応援する。もっとも、あくまでやるのは本人で、私は援護射撃しかできないけど。

**河野**◎ほんとうにゼミ生一人ひとりに対して手厚いと感じます。

**大島**◎要するに、学生には社会に役立つ人間になってほしいのです。世の中で活躍する、社会に貢献する、そのステップとなるゼミでありたい。進路選びもそこを踏まえて考えるようにしてほしいと願っています。

**河野**◎先生が異なるタイプの学生たちが混じり合うグループワークを設定されているのは、社会に出るための訓練だと言われました。僕は今、学習塾の個別指導で小中高生を教えています。このようなアルバイトも将来に向けて貴重な経験になるのではと思っています。

**大島**◎法律家は人間相手の仕事。さまざまな状況にある人と接するという経験は貴重な勉強です。やりがいも感じるでしょう。

**河野**◎得意な英語を活かせるうえ

## 「弁護士」

### 日々勉強というやりがいを感じる弁護士の仕事

弁護士になってほぼ1年。各種相談への対応や訴訟、調停など、忙しい日々を過ごしています。やりがいは毎日が勉強であること、クライアントの役に立っているという手応え。たとえば、長期戦になってもおかしくない交渉案件がスムーズに決着し、喜んでもらえたということもありました。

私が司法試験への挑戦を決意したのはかなり遅く、2年生の終わり。入学入学時はよく遊び、アルバイトにも精を出していました。勉強に向き合うようになったきっかけは、行政書士の学修を始めたことでした。何か資格でも、という軽い気持ちでSコース(特修講座)の行政書士講座を受講。それでも当初は予習もせず、ただ講義を受けるだけで、たまに2時間ほど勉強しては力尽きるということを繰り返していました。そんな状態でしたが、ある時ふと思ったのです。やり切ったという結果がほしい。ならば、この200ページほどのテキストを1度読み切ってみようと考えました。実際にやってみると、意外に読んだ内

に、生徒たちの成長に立ち会えることにやりがいを感じます。僕自身、決して秀才ではなかったのですが生徒たちの気持ちがよく分かるんです。

**大島**◎相手への共感はずいぶん大事なこと。いくら優秀でも勉強以外は何かしてこなかった人と、人間味のあるコミュニケーションが図れる人と、どちらに相談したいと思うか。答えは明確です。

**河野**◎僕もそう思います。学力だけでなく、人間的な成長も怠らせずに学んでいくように努めます。

**大島**◎期待しています。

**河野**◎予備試験での合格と、裁判官という目標に向かって全力を尽くします。どうか見守ってください。

## 目標は、裁判官。 法科大学院在学中に 司法試験合格をめざす。

容を覚えているという手応えがありました。1冊のテキストを読み切ってみると自分なりの学修方法を見いだしたことで、頑張れば合格できるのではないかと、意識が変わりました。そこから勉強時間も増え、2年の冬に行政書士試験に合格。そしてメンターの先輩に背中を押され、司法試験をめざすようになりました。

### 勉強をやり切るという経験が前に進む力になる

3年生からのスタート。Sコースで1年生と一緒に法職基礎講座を受講するところから始め、他の学生が3年で学ぶ内容を1年間でやるというハイペースな学修でしたが、法科大学院に合格できました。私は本を読むのが速いほうではありません。そんな私でも1日に100ページ読むことは可能なのです。3日で300ページ。それを3回繰り返すと、覚えている部分とそうでない部分が見えてきます。そして、覚えていない部分をやり返す。テキストは読めば読むほど、速度も上がり勉強も楽しくなってきました。

今、大学生活を無目的に過ごしている人もいます。大丈夫、今からでも間に合います。まずは一度、勉強をやり切る。という経験をしてみてください。私がそうだったように、挑戦はいつからでも始められます。

## 同じ道の少し先を進む 「先輩」の支えが心強い

**引地**◎昨年12月の公認会計士短答式試験合格、おめでとうございませう。橋本さんがずっとひたむきに頑張ってきたのをよく知っているの、自分のことのようにうれしく思いますよ。

**橋本**◎ありがとうございます。次は公認会計士論文式試験に、3年生の8月に挑戦します。その可否の発表が11月ですので、なんとかそこで合格を手にして、その後、監査法人に就職して実務に携わるようになっていたいですね。

**藤原**◎私も大学時代、2年生で短答式試験に、3年生で論文式試験に合格し、4年生の時には監査法人で非常勤として働いていました。**橋本**◎藤原先生が大学で重ねてこられたステップは、今の僕がめざしている目標とタイミング的に同じなんです。ですから藤原先生の当時の勉強法についてのお話などはすごく参考になります。自分がめざす道の少し前を歩く先輩であり、

「越えるべきハードル」のようにも感じていますね。**藤原**◎実際、私もほんの数年前まで今の橋本さんのように公認会計士試験の勉強に打ち込んでいたのですからね。勉強での失敗談なども含め、生きたアドバイスができると考えていますよ。

# 公認会計士

Crosstalk

[スペシャル対談]



**藤原 大花**助教  
経営学部 [公認会計士]

本学在学中に公認会計士試験合格。その後、有限責任監査法人を経て2021年9月、経営学部の教員として着任。担当科目は「上級簿記」「財務会計論」「監査論」など。研究分野は財務会計。研究テーマはのれんなど。趣味は料理。

**引地 夏奈子**教授  
経営学部 [博士(商学)]

2015年より本学に着任。「会計学基礎」などの科目を担当するほか、「専門演習」「基礎演習」も担当。研究分野は財務会計(特に資本会計)、国際会計。研究テーマはストックオプション、株式報酬など。趣味はドライブ。

**橋本 陸人**さん  
経営学部 2年 大阪府立泉北高校出身

高校時代は吹奏楽部に所属し、テナーサクソを演奏。高校3年次に日商簿記検定2級に合格し、本格的に公認会計士をめざす学修に取り組むため本学の経営学部へ入学。2022年6月に日商簿記検定1級合格、同年12月に公認会計士試験の短答式試験に合格。

**引地**◎橋本さんが公認会計士をめざそうと考えるようになったのは、いつ頃のことですか？  
**橋本**◎高校生の時に日商簿記検定2級に合格し、その延長線上に公

認会計士という資格があると知りました。簿記の勉強は自分にとって面白く、「好きなことで専門職として活躍できる場があるなら」と、この道を決めたんです。当時は「何か会社の計算をチェックする仕事らしい」といったイメージしか持っていなかったのですが。

**引地**◎大学で学ぶなかで、そのイメージは変わりましたか？  
**橋本**◎はい。少なくともパソコンや書類だけを相手にする仕事じゃない。時には工場に向いて製造ラインを見たり、そこで働く人たちの声に耳を傾けたり…。引地先生のゼミなどで学ぶなかで、そういった公認会計士の役割への理解を深めることができています。

**引地**◎そういう理解の仕方をしてくれていると私もうれしいですね。財務諸表は、実際の人が動いた結果が数字として表れたもの。それを



を監査するのが公認会計士なので

**橋本**◎引地先生のゼミでは、実在する企業の数字を使った経営分析ができるのが面白いですね。会社の経営方針、経営戦略、外部環境の変化が財務諸表に与える影響を読み解く力など、実際に社会に出た時に役立つ知識がたくさん学べます。**藤原**◎Sコースでは資格試験対策に特化した学修に取り組みますが、それだけでは見えない側面に気づかせてくれるのがゼミや正課授業での学びです。私も学生時代、この大学で引地先生に教わり、実務に生かせるたくさんの知識や思考力を養うことができました。

**引地**◎会計知識で実際の会社の状態がちゃんと見えるかを確かめてもらっているんです。会計の知識だけでなく、円安や戦争といった外部環境の影響を考慮できるなど、複合的な知識が必要なんです。ですから会計学の勉強一辺倒にならず、経営学やマーケティング、教養科目などさまざまな科目を履修して知識を広げ、私のゼミではそうしたいろいろな知識を総合して考える力を

## 橋本陸人さんの必携アイテム

### 簿記大会の優勝賞品でいただいた電卓

11月に開催された「大阪経済法科大学第11回簿記大会」で優勝し、賞品としていただいた電卓です。クオリティの高い製品で、手触りや使い心地は抜群。将来、公認会計士として働くようになってから、ずっと愛用し続けられると思います。



[特集] 高度専門職をめざして | 公認会計士◎スペシャル対談

## 合格はゴールじゃない。 会計を深く学ぶなかで さらに夢は広がった。



**橋本**◎そうですね。だからこそただ単に「合格」をめざすのではなく、次の試験での「一発合格」にこだわって頑張りたい。何をやるにも、今はこの関門を突破しないと何も始まりませんから。その先に広がる夢や目標が、高いモチベーションにつながっていますよ。

養ってもらいたいですね。**藤原**◎公認会計士の仕事は多岐にわたります。これらを円滑にこなしていくにはいろいろな能力が必要になります。試験勉強に打ち込むのもいいけれど、会計学以外の授業もしっかり頑張ることが、合格への力を高める結果につながるんです。**橋本**◎大学でしか学べないことはたくさんあると思いますし、試験勉強ときちんと両立させようという意識は常に持っていますよ。

### 合格後は実務とともに 理論研究にも携わりたい

**橋本**◎将来は公認会計士として働きたいと考えています。無形資

産といった「目に見えなくても価値のあるもの」の会計処理など、これからの時代の会計理論について学びを深めたいんです。

**藤原**◎実際に私が監査の実務に携わっていたなかでも、会計基準が存在しない論点やルールが曖昧なものは存在していますからね。**橋本**◎日本と海外とでも違いがありますし、そうしたズレをなくしてルールを明確化するための理論を追究したいと考えています。

**引地**◎その意識で素晴らしい卒業論文を期待しています。3年生で論文式試験に合格すれば、そこから大学卒業までやれることがたくさんあると思いますよ。

**藤原**◎メンターとして後輩たちに勉強を教えたり、卒業論文に大きな力を注いだりもできます。**橋本**◎そうですね。だからこそただ単に「合格」をめざすのではなく、次の試験での「一発合格」にこだわって頑張りたい。何をやるにも、今はこの関門を突破しないと何も始まりませんから。その先に広がる夢や目標が、高いモチベーションにつながっていますよ。



## 第51回経法祭を開催

花岡キャンパスは学生たちの笑顔と笑い声で包まれました



2022年11月12日（土）、秋晴れの晴天の中、第51回経法祭が花岡キャンパスで開催されました。

今回の経法祭のテーマは「燦（さん）」。このテーマには、学生文化が燦然と輝くように、またコロナ禍で様々な制限があった学生たちの豊かなキャンパスライフを象徴できるようにという思いが込められています。

当日は、経法祭実行委員の学生を中心に様々なイベントを企画。ステージでは、音楽系団体によるライブパフォーマンスやストリートダンス部によるダンスパフォーマンス

が開催され、観客を盛り上げました。その他にも、文化会クラブによる作品展示会やスポーツ交流会、ビンゴ大会なども開催され、学生たちの日頃の活動成果が存分に発揮されていました。

また、コロナ禍で制限されていた学生たちによる模擬店が3年ぶりに出店され、1700名を超える来場者は学生たちの趣向を凝らしたメニューに舌鼓を打ち、会場となった花岡キャンパスは終始学生たちと来場者の熱気に包まれ、第51回経法祭は成功裏に終えることができました。

## 先輩から在学生へのメッセージ

悔し涙を乗り越え、いま専門職としての道を力強く歩む自分がいる。



辻山 大夢さん  
有限責任監査法人トーマツ  
経済学部 2020年3月卒業  
和歌山県立新宮高校出身

本学在学中は軟式野球部での活動に励みつつ、引地ゼミやSコースで会計の学修に力を注ぎ、4年次に公認会計士試験の短答式試験に合格。本学卒業後の2021年2月に論文式試験に合格し、同年3月に有限責任監査法人トーマツに入職。

## Message

GRADUATE OF OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS AND LAW

監査の実務に携わるなか  
着実に成長を重ねる毎日

一昨年の2月に公認会計士試験に合格し、現在は監査法人で公認会計士の登録要件である「業務補助」に携わっています。仕事内容は財務諸表監査などで、実際の公認会計士と違いはありません。12月の修了審査に合格すれば正式に公認会計士として登録されるので、これに向け、実務のなかで日々勉強を重ねています。

例えばIPO監査（株式上場の準備を進めている企業が上場申請前に受ける監査）。継続的に行われてきた上場企業の監査などでは過年度の監査調書が参考になりますが、このIPO監査の場合、前年度までの調書がありません。現金、株式、売上などの科目に対して何を調べなければならないか、一つひとつ自分で列挙し、それぞれどんな手続きが必要か、自分で組み立てていく。すごく勉強になりました。成長させてくれる仕事だと感じます。



## 日本公認会計士協会 準会員

大切なのはクライアントの業種、業界や市場についてきちんと理解すること。業種によって利益率などもまったく違ってきますし、経済状況なども網羅的に把握できていないと監査の仕事は務まりませんよ。

勉強法と生活の見直し合格へと結びついた

大学時代、目標としていた公認会計士試験の現役合格が果たせなかった時は、悔し涙を流しました。でも「前に進むしかない」と切り替え、そこからは勉強の取り組み方を大きく変えました。ただ闇雲に頑張るのではなく、ゴールから逆算して学習計画をきちんと立て、休憩や睡眠もしっかりとり、週一回はジョギングもした。すると成績はぐんぐん伸びました。そして合格が決まった日、私はまた涙を流しました。喜びというより、安堵の涙でした。

資格試験に向けて頑張っている後輩たちにも、休憩や睡眠をしっかりとり、計画的に学習に取り組んでもらいたいですね。大きな目標は小さな目標の積み重ねの先にある。「問題集を○分で解き切る」「答練で○点をめざす」など自分なりの小さな目標を立てて一つひとつクリアし、大きな目標達成へと繋げてください。

※辻山大夢さんは現時点では「公認会計士試験合格者」です。公認会計士登録は、公認会計士試験合格後、業務補助2年以上 ※令和4年5月18日施行日以後は3年以上となります。および修了審査の合格を経て行われます。



躍動するクラブ&サークル紹介 [ 課外活動を通じて、成長・挑戦し続ける学生たちを応援します! ]

[ 体育会 ] 空手道部

空手の国際大会で初優勝  
日本代表入りに前進!

2022年11月18日~20日に、インドネシアで開催された「KARATE1シリーズ 2022ジャカルタ大会」で、体育会空手道部に所属する東佐江選手(経済学部4年)が、女子個人形の部で見事初優勝。東選手は、4歳の頃から空手をはじめ、中学・高校時代と全国大会で優秀な成績をおさめました。本学入学後は全日本学生空手道選手権大会で3位入賞、国民体育大会で兵庫県代表選手として選出されるなど、活躍されています。今回の優勝により、東選手は世界空手ランキング(女子形の部)で44位にランクインし、今後はシニアナショナルチーム(日本代表)を目指し、さらなる活躍が期待されています。

両親やたくさんの方々のおかげで国際大会に出場でき、初優勝という結果を残すことができました。今回の成績に満足せず、皆さんに少しでも恩返しができるよう、さらなる高みを目指して練習に励みたいと思います。



[ 文化会 ] ストリートダンス部

八尾イズミヤ祭で  
日頃の練習成果を披露!

部員39名と大所帯の文化会ストリートダンス部は、週3回活動を行っています。そんな、ストリートダンス部に大手スーパーイズミヤから出演依頼がありました。「夏らしい感じで盛り上げてほしい」との期待に応えるべく、学生たちは振り付けや楽曲選びに奮闘。2022年8月7日の本番当日は、炎天下で機材が故障し、音が流れないトラブルに見舞われる中、お客さんの暖かい声援のおかげで練習の成果をしっかりと披露することができました。コロナ渦のため、多くの部員が初めて学外でダンスを披露する場となりましたが、今回の経験を通じて部員の絆が深まり、「もっとお客さんを楽しませたい」、「喜ばせたい」と次のイベントに向けて、一生懸命に活動に取り組んでいます。



[ サークル ] 国際交流会Gator

様々なボランティア活動を通じて  
環境問題について知ってほしい!

大学公認サークル「国際交流会Gator」は、環境問題についてSNSを活用して情報発信するなど、持続可能な社会に向けての取り組みを行っています。同サークルは、2021年秋にサンフランシスコ州立大学へ留学した学生たちによって結成されました。環境問題について現地の学生に実施したインタビューで、彼らが環境問題を「自分事」として捉え何らかのアクションを起こしているのに対し、自分たちが「他人事」として捉えていたことに気づかされたのがそのきっかけです。2022年は、兵庫県須磨海水浴場でのプラスチックごみの清掃活動や、不要な服を回収し、難民への衣料支援に取り組むなど、学生たちが「環境問題について「自分事」として捉えてほしい」そんな想いで活動を続けています。



学生消防隊が  
防災まちづくり  
大賞を受賞

本学の学生消防隊(SAFETY)が、消防庁主催の「防災まちづくり大賞」/日本防火・防災協会賞を受賞。2023年2月28日(火)に東京の霞山会館で行われた授賞式には中井英雄学長が出席し、賞状を受け取りました。2016年に八尾市消防本部との協定に基づき発足した学生消防隊。八尾市消防本部の協力のもと訓練や講習を実施し、その経験を活かして地域で開催される自主防災活動へボランティア参加することで、地域貢献に励んできました。今回その取り組みが評価につながりました。



花岡キャンパス人工芝グラウンド完成!  
体育・課外活動施設の全面リニューアル

現在 花岡キャンパスでは、活力ある学生たちの学園生活を実現するため、新年度に向けた体育・課外活動施設の全面リニューアル工事が進行中です。

2023年1月にはキャンパスの中央に位置するグラウンドのリニューアル工事が終了し、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボールに利用できる耐久性・安全性に優れたロングパイル人工芝フィールドと50mウレタン塗装走路、幅跳び用砂場を備えた人工芝グラウンドが完成しました。

さらに、テニスコート及び弓道・アーチェリー場の改修、ゴルフ練習場の新設、体育館アリーナのLED照明工事など、多方面にわたる体育・課外活動施設のリニューアル工事を実施しています。

完成した人工芝グラウンドを使ってすでにサッカー部の練習が始まっているように、新たな施設の利用を通して、より一層授業や課外活動が活性化していくことを期待しています。



リニューアルの  
目的

▶活力ある学生たちの学園生活を実現すること  
▶課外活動(クラブ・サークル)の活性化

実施する  
リニューアル工事

<10月>野球練習場  
<1月>花岡キャンパス人工芝グラウンド <2月>体育館2階アリーナ LED照明  
<3月>テニスコート/弓道・アーチェリー場/ゴルフ練習場

▶ 2022年度秋学期 | 体育会・文化会クラブの主な活動結果

クラブ名	大会・行事	活動結果
硬式野球部	阪神大学野球秋季リーグ戦(2部東)	5位
男子バレーボール部	大阪府学生バレーボール男女優勝大会	3位
軟式野球部	西都大学軟式野球秋季リーグ戦(1部)	6位
卓球部	関西学生秋季卓球リーグ戦(1部)	7位
サッカー部	関西学生サッカーリーグ戦(4部Aリーグ)	8位
空手道部	全関西大学空手道選手権大会 男子団体組手1部	2回戦進出
	KARATE1シリーズ 2022ジャカルタ大会 女子個人形	優勝(経済4・東佐江子)
陸上競技部	関西学生陸上競技種目別選手権大会(800m)	出場

クラブ名	大会・行事	活動結果
アーチェリー部	関西学生アーチェリーインドア選手権大会(18m)	出場
剣道部	関西学生剣道優勝大会・関西女子学生剣道優勝大会	出場
柔道部	関西学生柔道体重別選手権大会	出場
ストリートダンス部	八尾イズミヤ祭、第51回経法祭	参加
フォークソング部、音楽研究会、軽音楽部	音楽系クラブ3団体合同ライブ、第51回経法祭	参加
写真部	写真撮影会(三重県、愛知県)、第51回経法祭	参加
模型研究会	モデラースフェスティバル、第51回経法祭	参加